

淡輪は世界航海艇の「オアシス」? 外国艇の寄港盛ん

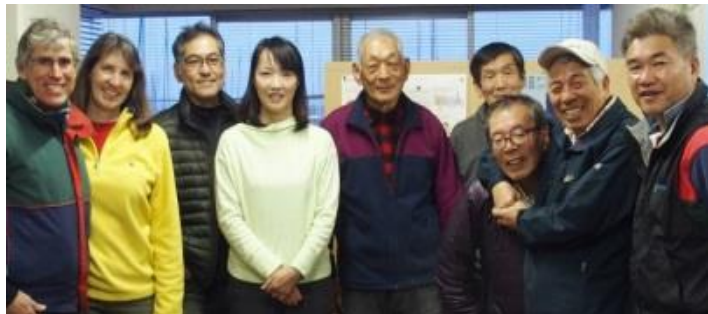
2017年の淡輪にもやいを取った外国艇は、例年以上の賑わいで、国別ではフランス3艇、オーストラリア2、米国2、N. Z2、オランダ1、ロシア1、合計11艇(内3艇は前年からの長期滞在)です。そしてその内の6艇が新年を淡輪で迎えて越冬中です。但し乗組員は本国でクリスマスやニューイヤーを本国で過ごしているため、フネは3月頃まで空っぽですが…。

前年(2016)は寄港艇に3艇もの外洋モーターボートが含まれており、大洋周航にいいよモーターボート時代が来たかと驚かされました。本年はどうなるかと注目していましたが、M、Bは前年からの長期滞在の2艇のみで、他の9艇は全てセーリングBでした。

さて、その受け入れですが、協会は係留場所の確保に奔走し、わがクラブも柿原アンバサダーを中心に大勢の人が協力して、ささやかながらウエルカムやお別れのパーティを度々開き、国際親善を深めました。

昨夏の終わり頃来淡艇が集中し、なかなか艇名やクルーの名前、顔を覚えられず、戸惑いがありました。一番印象深かったのは仏艇の「オウイステティ」(猿の意)の夫妻とお嬢さん二人と猫の一家。その姉妹は、もはや日本では失われたと思われる「しとやかさ」を持ち合わせており、二人の澄んだ美声のコーラスを聞かせてくれて、さすがは文化度の高いフランス人と感銘を受けました。

これらの外国艇の人々も今年の春、桜爛漫の頃淡輪を離れる予定です。日本での良い思い出をお土産に、無事航海を続けられるよう、皆さん、声援を送りましょう。
(詳しくはクラブホームページをご覧ください)



LEOUSTITI(フラン)

MIGRATION(アメリ)



SAGATA(ニュージーラン)



DIONE(オーストラリア)

。WINGS&STRINGS(アメリ)



YODYSSEY(フラン)

